

今から聞けない！キリスト教講座 - 聖公会って？ -

はじめに

「聖公会って、ヘンリー八世の離婚問題から始まった教会じゃないの？」と言われて、返答に困ったことはありませんか。もちろん、単純にそんなことから聖公会が始まったわけではありません。イギリスに息づくさまざまな伝統や、その後の宗教改革、その過程で生まれた「ヴィア・メディア(中道)」という教会のあり方の中で、調和や平和、自由と多様性、伝統を重んじる今日の聖公会が育まれてきたのです。み言葉の礼拝と聖餐の両方を重んじることや、みんなが参加する礼拝の形、多様性の中の一致など、わたしたちの教会の特徴を生み出したのは何か。過去の歴史をも振り返りながら、その中で聖公会の特質をともに学んでいきたいと考えています。わたしたちの教会に誇りをもち、喜びをもって礼拝と奉仕に励むための一助としていただければ幸いです。

聖公会についてもっと知りたいのはどんな点でしょうか？3つまで選んでください。

- ① 聖公会の源流
- ② 聖公会が生まれた歴史的経緯（宗教改革）
- ③ プロテスタントとカトリックの中間と言われるが、それはなぜ？
- ④ 主教と司祭、執事という三つの聖職位について
- ⑤ 聖公会の教理の特徴－ヴィア・メディア
- ⑥ 聖書と理性と伝統を重んじると言われるがそれはなぜ？
- ⑦ ハイ・チャーチとかロー・チャーチとか言われるのはどういうこと？
- ⑧ 世界大の交わりであるアングリカン・コミュニオンについて
- ⑨ サクラメント（聖餐）とは何？
- ⑩ 聖公会が大切にしていること

上記以外に、「今さら聞けない」と思わずに、聖公会の何を(もっと詳しく)知りたいですか？（自由に記入してください）

聖公会とは…

英国国教会につらなるキリスト教会です。

ヨーロッパ大陸での宗教改革の影響や英国国内での国民意識の高揚のもとで、16世紀半ばに英国でも宗教改革が起こり、ローマカトリック教会から分離した英国国教会（英国聖公会）が成立しました。日本の聖公会は19世紀に英国や米国の聖公会から宣教師が来訪してその教えを広め、1889年に日本聖公会として組織が確立されました。聖公会は、今では世界160カ国（管区としては50数カ国）に広がる全世界聖公会（アングリカン・コミュニオン）に発展し、互いに独立性を保ちながら、英国聖公会のカンタベリー大主教座との交わりを大切にしています。

【英国宗教改革のいくつかの要因】

①ナショナリズムの高まり、②人文主義による古典学問の研究、③ウィクリフによる聖書翻訳→ロラード派の反カトリック主義、④ルター主義の影響、⑤一般的な反聖職者主義決して、ヘンリー八世による離婚問題から生まれた教会ではありません！

各国の文化を大切にします。

聖公会は、それまでラテン語で読まれていた聖書を民衆に分かる英語に翻訳して聖書を読む習慣を広め、英語で書かれた祈祷書に基づいて礼拝を進めるようにしました。これはキリスト教の本当の意味を人々に知らせる上で大きな改革でした。それ以来、聖公会はそれぞれの国の言語で礼拝することを大切にしています。また、それぞれの文化的伝統に根付いた教会のあり方を追求しています。

【聖公会の源流・ケルト教会】



聖オーガスティン以前のキリスト教…いつ、だれによってキリスト教の信仰が伝えられたかは不明。伝説によると、パウロ、ピリポ、あるいはトマスが伝えたと言われます。また、アリマタヤヨセフがグラストンベリーに教会を建てたという伝説もあります。特徴としては永遠と調和（Eternity+Harmony）に重点を置き、自然との調和、命の循環を信じる原住民の霊性を大切にしました。そのシンボルが「ケルト十字」です。

ヴィア・メディア(中道)の教会です。

聖公会は宗教改革の結果生まれた教会としてはプロテスタントに属していますが、古代

教会が追求したカトリック的（普公的）伝統を大切にしています。ですから、み言葉（聖書）と sacrament（イエス・キリストの体と血をあらわすパンとぶどう酒をいただく聖餐式などの儀式）の両方を大切にしています。そういう意味で、プロテスタントとカトリックの両方の良いところを取り入れているといっても良いかも知れません。そのような教会のあり方を「ヴィア・メディア（中道）」と呼んでいます。

またヴィア・メディアには「途上にある」という意味も込められ、「旅する神の民」としての教会というあり方を大切にしています。

聖書と伝統と理性を大切にします。

聖書を大切にするのは、その中に、全人類の救い主であるイエス・キリストの出来事がすべて記されているからです。

伝統を大切にするのは、教会の中に蓄えられたこれまでの歴史的経験を受け継ぎ、未来に向けて発展させようとしているからです。

理性を大切にするのは、聖書や教会の伝統に目を向けるとともに、新しい真理の発見にたいして開かれた態度をとっているからです。また、理性に基づく他宗教との対話にも積極的に関わっています。

極端な「聖書のみ」は、個人の自由な聖書解釈を主張し、共同体的信仰と矛盾することがあります。

キリスト教の一致を目指します。

イエス・キリストの教会は本来一つであるはずですが、ところが過去の歴史の中で、ローマカトリック教会、東方教会（正教会）、プロテスタント諸教会など、多くの教派が生み出され、時には激しく対立したこともあります。聖公会はそうした諸教会が相違を認めつつ再び一致に向かうこと（エキュメニズム）を支持しています。自らを「ブリッジ・チャーチ（橋渡しの教会）」と呼んでいるのはそのためです。

多様性の中の統一

ヴィア・メディアを行くということから、聖公会の中には、多様な傾向、多様な考え方が共存しています。プロテスタントの改革精神を重視する人々から、カトリック的伝統を重視する人々まで、多彩なあり方を互いに認め合っています。それを表しているのが、「Unity in Diversity（多様性の中の統一）」という言葉です。

シカゴ・ランベス4綱領

そうした多様性を認めつつ、一つの教会としてまとまるために、シカゴ・ランベス4綱領を認めています。それは、①啓示された神の言葉としての旧新約聖書、②キリスト教信仰の十分な表現としてのニケア信経、③キリストが用いられた言葉と要素を確かに伴って執行される洗礼と聖餐という二つの sacrament、④歴史的主教制、です。

多くの学校や施設、病院を支えています。

日本聖公会には、多くの学校や社会福祉施設、病院が属しています。教育や社会福祉、医療の分野での奉仕活動を伝統的に重視してきたからです。学校としては、立教学院、香蘭女学校、桃山学院、平安女学院、プール学院、神戸松蔭女子学院、八代学院（神戸国際）などがあり、社会福祉施設としては、博愛社、聖ヨハネ学園、東光学園、三光塾ほか、病院には聖路加国際病院、聖バルナバ病院などがあります。

アングリカン・コミュニオンのシンボル



日本聖公会のシンボル：ローズコンパスの中に「NIPPON SEI KO KAI」と記されています。

